

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和3年 11月 日

事業所名：つばめ会闘竜舎

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じたスペースは確保している。	(はい8、どちらともいえない2、いいえ1、わからない0、未回答1)	今の状態を維持していく。
	2 職員の適切な配置	利用者の人数に関わらずスタッフの配置は確保している。	(はい8、どちらともいえない2、いいえ0、わからない2、未回答1)	職員の資格保有者、資格別人数の公表をしていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	職員棟や作業棟分け、パーティションを分ける	(はい9、どちらともいえない1、いいえ0、わからない2、未回答2)	今後も必要に応じて環境の調整を考えています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	定期的にスペースの清掃・消毒を実施している。	(はい10、どちらともいえない0、いいえ0、わからない1、未回答3)	落ち着いた静かな環境に取り組んでいます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員、管理者、理事者が協議したことを、月一度の職員会議などに計っている。		組織的なPDCAサイクルの確立を図っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価は現時点では、実施無し		実施に向けて検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員研修、外部研修を適宜実施している。		計画的に実施していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	モニタリング(面談)を実施し、職員間で協議し支援計画の充実に努める		面談事に支援改革を実施させる。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別の要望を踏まえて支援計画の作成・見直しを進める。	(はい10、どちらともいえない1、いいえ0、わからない0、未回答3)	個々の要望を踏まえて企画にアセスメントして、質の高い療育に努める。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	領域別に必要な項目を設定し定期的に評価している。		今後とも実施していく。

適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個人ファイルにして整理。職員会議や打ち合わせで支援を細目に確認している。低学年低学年、高学年にほぼ職員を固定している。	(はい10、どちらともいえない0、いいえ0、わからない1、未回答6)	質の高い療育に努める。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月一度の職員会議で支援の在り方や行事業などを検討し、必要に応じて研修・研究を重ねている。	(はい9、どちらともいえない2、いいえ0、わからない2、未回答6)	今後とも実施していく。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇に外周ツ支援、給食などを導入するなど、状況に応じた支援を		今後とも実施していく。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	新しいアプローチの確立に努めている		今後とも実施していく。	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に職員で当日の連絡事項や分担の確認を実施している。		今後とも工夫を重ね実施していく。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	会議などの記録を記して職員に徹底している。連絡帳を通じて保護者と意見交換、連絡を行い重要なことはボードに掲示して職員に		今後とも工夫を重ね実施していく。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	職員会議や打ち合わせなどで重要な事項は徹底している。		今後とも実施していく。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画	定期的なモニタリングの実施をしている。10月には長時間の面談を実施している。		今後とも工夫を重ね実施していく。	
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	必要に応じ、主に担当しているスタッフが参加する		積極的に参加する。	
	関係機関との連携	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
		3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
4		児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じ、ケース会議や協議・情報交換を行っている		積極的に参加する。	
5		放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	実施していない			
6		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	市内の事業所連絡会に参加している。市関連の研修にも参加している。			
7		児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する	地域の自治活動団体などを通じて収穫際などに参加し、交流をしている。	(はい2、どちらともいえない0、いいえ1、わからない6、未回答6)		
8		事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	つばめと合同で行う。	(はい9、どちらともいえない3、いいえ0、わからない0、未回答6)		

保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書に記載機会を見て理念などとともに説明している。		契約時や案内文書、パンフレット等を使い説明している。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な	面談、お知らせなどを通じて丁寧な説明を心掛けている。	(はい10、どちらともいえない1、いいえ0、わからない0、未回答6)	年度当初の支援計画書、中間評価等(面談)で説明している。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の	送迎時、面談時や行事を通じて療育内容や保護者が理解が深まるように努力する。	(はい7、どちらともいえない0、いいえ3、わからない3、未回答7)	実施していないため今後検討していく、職員の部外研修は実施している。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡や事業所内相談などで、共通理解を深める。	(はい9、どちらともいえない2、いいえ0、わからない1、未回答8)	専用の連絡帳や電話、メール等で適宜、伝達ができています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	モニタリング(面談)だけでなく、必要に応じて事業所内相談を実施している。		支援計画のモニタリングの際に保護者へ助言等をしている。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会、保護者会はない	(はい2、どちらともいえない1、いいえ2、わからない7、未回答7)	保護者会の創設に向けて今後検討して
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	事業所内に苦情受付を設置し、対応していく。	(はい7、どちらともいえない1、いいえ0、わからない1、未回答8)	苦情受付マニュアルに沿って記録等を作成し早期の段階で対応している。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	伝達カードやコミュニケーションツールなどで配慮している。	(はい11、どちらともいえない1、いいえ0、わからない1、未回答6)	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎日の連絡帳で様々な連絡を取り、お知らせを毎月発行している。	(はい9、どちらともいえない2、いいえ0、わからない1、未回答7)	ホームページの掲載や法人の月間お便りを発行している。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員には秘密保持を徹底する様に支持して	(はい11、どちらともいえない1、いいえ0、わからない0、未回答8)	事業所内で周知徹底している。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを作成して運用している。	(はい11、どちらともいえない0、いいえ1、わからない0、未回答8)	保護者への周知が行われていない、各マニュアルは整備している。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年1回の避難訓練を実施している。	(はい6、どちらともいえない1、いいえ0、わからない5、未回答9)	職員への周知を徹底して実施していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機種の確保等の適切な対応	職場内外での研修を実施している。		今後も研修会等を実施する。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画へ	必要とする子供の利用がない		今後も研修会等を実施する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	家族からの聞き取りで給食等に配慮している。職員には徹底して周知している。		職員への周知を徹底していく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットや事故対策マニュアルに則り運用している。		今後とも事例を共有できるように努力する





١٤

٥٠